

ベトナム・ダナン産婦人科小児科病院「フィジカルアセスメント(循環)」研修 ～「病院内の体系的な看護師・助産師教育プログラム導入プロジェクト」～

2013年12月、第4回研修員として、助産師長ら6名を神戸に受け入れました。第4回受入研修では、前回に引き続き「フィジカルアセスメント※」に関する研修を実施し、今回は「フィジカルアセスメント(循環)」を研修テーマとしました。

※フィジカルアセスメントとは、問診、身体診査、検査などによって患者の身体的変化の徴候をいち早く察知し、総合的に評価すること。

西市民病院では、まずフィジカルアセスメントを行う目的、ポイントを押さえた上で問診、視診、触診、打診の基礎を学びました。その後、講義と演習を通じ、循環器系のフィジカルアセスメントに必要な基本的技法を習得しました。また看護大学では、研修実施計画であるアクションプランを作成し、最終日にはその発表をしました。併せて、妊産婦に対してのフィジカルアセスメントの基礎について講義を受け、看護師役、妊婦役、その母親役の3者のロールプレイも行い理解を深めました。

2014年5月には第6回の専門家派遣を行いました。

第6回派遣時には、ダナン産婦人科小児科病院にて第4回受入研修テーマでもあった、「フィジカルアセスメント(循環)」をテーマにした新人看護師・助産師研修が実施されました。日本で学んだことをベースに、妊産婦に対してのフィジカルアセスメントや看護ケアに特化した内容にアレンジされていました。研修は講義だけではなく、助産師外来のロールプレイを行い、講師が自ら作成した評価票に基づきチェックを行いました。また、ロールプレイ後にグループディスカッションの場を設け、受講者の理解をより深める工夫が感じられました。講師を担当した助産師長たち自身も事前準備を行い、過去の研修を担当した看護師長たちとの勉強会等を積極的に行い、指導側のバックアップ体制もより強くなっていると感じました。



神戸から参加した専門家から、「研修終盤のディスカッションは受講者のやる気と自身に繋がりととても良いアイデアだ。」等の感想や、「ロールプレイの事例パターンを1つだけではなく、もう少し増やすとより効果的な研修になるのでは。」等のコメントを行いました。

<受講者によるロールプレイの様子を講師(看護師・助産師長)が確認する様子>

プロジェクト最終年度である平成26年度には、7月と11月に看護師長クラスの研修員を6名神戸に受け入れ、技術的な研修を実施し、残り2回の専門家派遣を予定しています。